

# Part.1

Question. どうすれば心地よい  
「木の家」を建てられますか？



▲ CASE 1

庭を囲む木の家がもたらす  
親子のほどよい距離感

愛知・名古屋市 山口さんの家 家族構成／夫39歳 妻34歳 長女3歳 長男0歳 設計／大野正博

床は厚めの無垢の杉  
構造は強度のある積層材

名古屋の通勤圏内にある住宅地に建つ山口さんの家は、新築なのにとても謙虚な佇まいだ。道路から少しセッパバックした木の柵の足元には草花を植えている。敷地の奥は2階屋だが、道路側は平屋なので圧迫感がない。木戸を開けると手入れの行き届いた植栽と小さな水路や池、そして木のデッキで構成された中庭が迎えてくれる。子世帯のアプローチは北へ、親世帯は東へ、どちらもこの中庭を眺めながら玄関へとたどり着く。

子世帯の玄関土間から入ると、構造材を表にした天井、柱、梁、床、建具と木に包まれ、なんとなく呼吸が楽になったような気がする。構造材には狂いが少なく強度のある積層材を使っているが、体がふれる床は厚みのある無垢の杉。「厚みのぶんだけ呼吸してくれるから」と設計者の大野正博さん。子世帯リビング南側は全面開口にしているので光が入り、樹木や草花を植えた中庭を眺めることができる。

1階はLDKと和室、水回り、2階は階段の吹き抜けをL字に囲んで、書斎、寝室、子ども部屋、1階東側の棟には母親の住まいがある。「二世帯住宅では、上下が重ならないように計画している」と大野さんが言うように、中庭を親子でL字に囲む絶妙なプランだ。



1. 道路側から中庭を見る。正面は2階屋の子世帯、左は駐車場、右は親世帯の平屋。外壁は板張りと防火サイディング。濡れ縁に腰掛けてひなたぼっこ 2. 木戸を開けると右に親世帯、左に子世帯、アプローチが二手に分かれる 3. 道路から見た南側外観。木の柵は街に柔らかい表情を見せてくれる。車寄せやアプローチの床は、簡素な風合いのコンクリート平板



## Answer

建築家・大野正博さん

### 木の家は、住む人と 同じように呼吸します

木は手入れが必要ですが、湿気を吸収してくれるので、体に害を与えません。床材は厚みのある無垢、構造には狂いが少なく強度のある積層材と、木の特質を見極めて使い分けています。どのような樹種であっても、木は私たちと同じように呼吸しています。家をかわいがり、家を楽しめる人ならば、木の家はおすすです。

水や緑が楽しめるデッキは3世代が出会う場所

敷地には築60年を超えた両親の家が建っていた。父親が亡くなり、母親ひとりになったので、山口さんは建て替えて一緒に暮らすことにした。「両親が喜んでいた家の空気を残すなら、木の家がいい」と大野さんが手掛けた木の家を雑誌で見ると「こんな気持ちのいい家に住みたい!」と思った。東京まで会いに行き、その場で引き受けてもらった。大野さんは周辺の風景と敷地の形状を見て、閉鎖的にならないで、しかもプライバシーが保てる「中庭」を「の字」に囲む家を提案した。それは山口さん一家と母親とのほどよい距離感をもたらすことにもなった。

竣工してから長男が生まれたの



で、子どもは2人になり、子世帯は賑やかになった。絵を描くことを趣味にしている母親は、ひとりで過ごす時間も欲しいが、気配は感じてほしい。「中庭を通して息子一家が見える」と、ひとりじゃないって、安心「お母さん」という母親の感



掘りぞたつ式のキッチン一体型食卓に腰掛けると、中庭が視界に入ってくる。天井は杉の厚板合板、積層材の梁は表し、床は無垢の杉と木に包まれる。白熱球の照明が温かい



1. 中庭のデッキに集う3世代。敷地内にあった井戸の水が流れ、コンクリートの小さな池ではスイレンが開花 2. 駐車場の軒の出は、子世帯の玄関アプローチの雨除けになっている 3. 玄関アプローチは大谷石、約3畳と広めの土間。南側の扉から駐車場に出入りできる



4

2013  
MY IDEAL HOUSE  
Part.1 ▲▲



想は、大野さんのプランが間違っ  
ていなかったことの何よりの証だ。  
中庭は3世代が出会う場でもあ  
る。気候がよければ、デッキでく  
つろぐ。外気にふれながら家族が  
出会うのは中庭だけではない。2  
階東側にも、そして山口さんが「屋  
根の上にも欲しい」と要望した「屋  
上桟敷」ともか所ある。  
室内とレベルの異なるデッキを  
行き来して、木とともに呼吸しな  
がら、親子はこれからも穏やかに  
暮らしていくに違いない。



6



5

4.LDKの西側にある和室。右手は  
キッチンの棚からつながるPCコ  
ーナー。丈夫なバルブ畳敷き  
5.キッチンカウンターはステン  
レスを張っている。ダイニング側  
より床を45cm下げている 6.キ  
ッチンと一体の食卓は造り付け。食  
卓側は床から35cm下げた掘りご  
たつ式 7.キッチンと一体のカウ  
ンター周辺で多くの時間を過ごす  
山口さん一家。北側壁面はキッ  
チン回りの収納、ベンチも造り付け



7

“中庭が望める木の家は  
光も風も家族の気配も柔らかい”



1



親世帯のLDKから中庭を通して子世帯を見る。「絵を描きながら中庭越しに孫の姿が見えるのは、安心だし心が和む」と母親

書斎コーナーの西側にある寝室。小屋組み表しの天井。北側には4畳の納戸がある。「白い壁は木を引き立ててくれます」と大野さん



2

1.LDK南側の吹き抜けから1階を見下ろす。中庭との開口部ははめ殺し窓と引き戸。2階南側は外からの視線を遮るため壁に 2. 吹き抜け回り。手前は書斎コーナー。採光用にトップライトと壁上部はポリカーボネートのハイサイドライト



4



3

2013  
MY IDEAL HOUSE  
Part.1 ▲▲

3. 子世帯2階の屋根の上に設けた「屋上栈敷」。街が一望できて、花火のときには特等席になる 4.1階東側の水回りの屋根の上に設けたデッキ。ベンチやテーブルも大野さんのデザイン。「屋上栈敷」へはここから梯子で上がる。デッキの北側には物干し場がある

## 山口さんの 家づくりカレンダー

父親が亡くなり、築60年の実家を母親との二世帯住宅に建て替えることを考える。住宅メーカー2社に地盤調査と設計の相談をしたが納得いかず、住宅雑誌などを読んでいるうちに建築家という選択肢が出てくる。

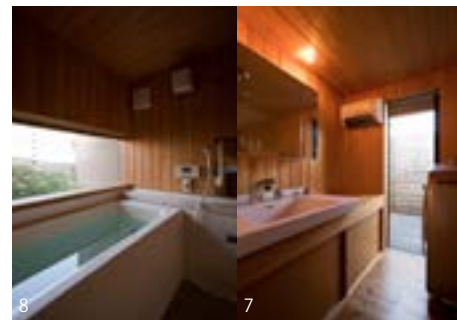
- 2009年5月  
建築家との出会い  
雑誌で見た間取りや雰囲気が気に入った家の多くが大野正博さんの設計したものだったので、周辺の写真を持参して上京し、その場で依頼する。
- 2009年5月下旬  
ファーストプラン  
最初の設計案が送られてくる。大筋はよかったが、いくつかの要望をFAXで伝える。
- 2009年6月初旬  
第2案  
2案目が送られてくる。細かな要望をFAXで伝える。
- 2009年6月20日  
設計契約
- 2009年7月中旬  
第3案  
すべての要望を取り入れた等3案が送られてくる。
- 2009年12月  
工事費見積もり  
予算内に収まり、調整なし。
- 2010年1月  
実家取り壊し
- 2010年4月  
工事着工
- 2010年11月  
完成・引き渡し



5



5. 親世帯のLDK西側からは中庭と樹木の間から子世帯が見える。手前はアトリエ・仏間 6. 両世帯をつなぐ廊下。右手は納戸、障子の向こうは寝室



7. 共用の洗面・脱衣室。奥にある物干し場とつながっている 8. 共用の浴室からは北側の庭が眺められる。洗い場の床はタイル、天井と壁は湿気に強いサワラ

### Data

敷地面積 / 273.50㎡ (82.88坪)  
 延床面積 / 188.84㎡ (57.22坪)  
 1階 / 129.34㎡ (39.19坪)  
 2階 / 59.50㎡ (18.03坪)  
 用途地域 / 第1種住居地域  
 建ぺい率 / 60%  
 容積率 / 200%  
 構造 / 木造軸組工法

### Material

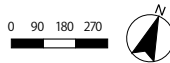
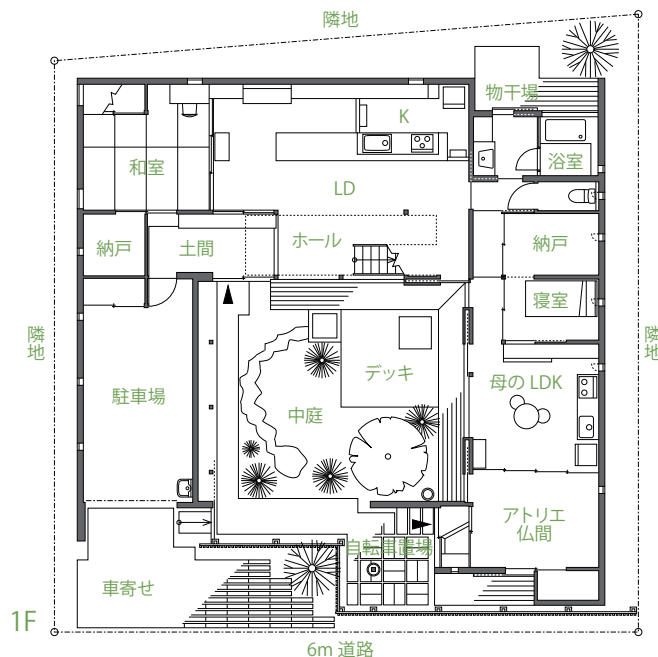
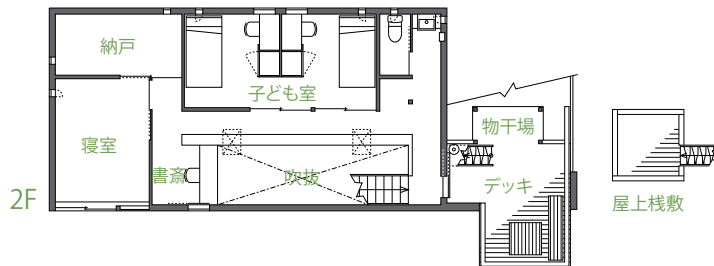
[外部仕上げ]  
 屋根 / ガルバリウム鋼板瓦棒葺き  
 外壁 / 防火サイディング、一部板張り  
 [内部仕上げ]  
 1階・2階 床 / 杉フローリング  
 壁 / ビニールクロス  
 天井 / 構造用合板表し

### Instruments

衛生機器 / TOTO、INAX (LIXIL)  
 厨房機器 / オリジナル  
 窓・サッシ / 三協アルミ

設計 / 大野正博 (DON工房)  
 〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南  
 3-35-15-205  
 ☎03-3393-0121

施工 / 友八工務店 ☎052-622-9362



### Architect's Profile 大野正博

1948年東京都葛飾区生まれ。日本大学芸術学部美術学科卒業。'66~'69年圓堂建築設計事務所勤務。'71年DON工房設立。